

NEXCO東日本グループ 長期ビジョン2025

平成26年5月

あなたに、ベスト・ウェイ。



NEXCO東日本グループ 長期ビジョン2025

I. 策定の背景

- ・少子高齢化、人口減少、厳しい国家財政、インフラの老朽化など、当社グループを取り巻く事業環境の大きな変動期を迎える中、NEXCO東日本グループの企業価値を更に高め、継続して使命を果たし続けるため、今後10年の目指すべき方向性を共有することを目的に長期ビジョン2025を作成。

II. 今後のNEXCO東日本グループが直面する課題

- ・政府により策定された「日本再興戦略」において、「安全・便利で経済的な次世代インフラの構築」が中長期戦略のテーマの一つとされており、高速道路事業者としてこの実現に貢献していくことが求められている。
- ・高速道路の老朽化への確実な対応などにより安全・安心に対する信頼を回復し、地域社会の発展に向けより高まる私たちへの期待に応え続けることに加え、東京オリンピック・パラリンピックへの準備など時代とともに変化する社会の要請に的確に対応していくために、改めてグループ経営理念に基づく使命を問い直し、更に「つなぐ」価値を創造するべく積極的に取り組む必要がある。

III. NEXCO東日本グループ 長期ビジョン2025

1. 国民から信頼されている企業 ～ Reliable

安全・安心を最優先に、老朽化する高速道路の確実な維持管理など持続可能な社会の実現に向けた取組みを先駆的に進めるインフラ事業者の見本となるような企業になっている。

2. お客さまに必要とされている企業 ～ Required

最小のコストで最大の満足を提供することを常に追求し、情報通信技術などを取り入れた新しい価値をお客さまに提供している。

3. 地域社会の期待に応えている企業 ～ Responsible

地域社会との強い信頼関係が確立され、高速道路ネットワークや資産を活かした地域社会への貢献、地域社会との共存共栄につながる様々な取組みを継続的に行っている。

4. 国際社会から認められている企業 ～ Recognized

高い技術力を活かし、国際社会のニーズに応えるために海外との信頼関係や海外での事業実施のノウハウを築いている。

5. 社員がやりがいを実感している企業 ～ Rewarding

事業を通じて「つなぐ」価値を創造することが、社員のやりがいにつながる企業文化が確立されている。

IV. 長期ビジョン2025のビジョンごとのあらし

1. 国民から信頼されている企業 ~ Reliable

筐子トンネルの事故により国民の信頼は大きく失われている中、同様の事故を二度と起こさないよう今後ますます進むインフラの老朽化対策に先駆的に取り組み、加えて環境の保全を追及するなど持続可能な社会の実現に貢献し、インフラ事業者の見本のような企業になっている。

【具体的な取り組みごとの目標】

- (1) 高速道路の老朽化への対応 [SMH確立、大規模更新の確実実施]
- (2) 事故削減 [暫定2車線の4車線化等]
- (3) 災害への対応力向上 [耐災害性能の向上、早期復旧体制確立等]
- (4) 環境保全 [先進的な省エネ技術や再生可能エネルギーの導入]
- (5) 技術革新 [幅広い分野の要素技術を取り入れた技術開発の推進]
- (6) 安全・安心を最優先に社会に貢献する企業文化の確立

2. お客さまに必要とされている企業 ~ Required

地方部での交通量減少や首都圏環状道路での交通集中が想定されるとともに、高齢化や外国人観光客増加に伴うお客さまの多様化、情報通信技術の社会への更なる浸透に伴うお客さまのニーズの変化が考えられる中、最新の技術によりサービスが大きく向上している。

【具体的な取り組みごとの目標】

- (1) より快適な利用環境の提供 [ニーズに応えた情報提供等]
- (2) より弾力的な料金設定 [新たな課金技術を取り入れた料金設定]
- (3) 休憩施設のサービス向上 [戦略的ブランド配置、ユニバーサル化]
- (4) ドライブ旅行の価値創造 [ICT導入や他企業等との連携]
- (5) 最小のコストで最大の効果を得る取り組み

3. 地域社会の期待に応えている企業 ~ Responsible

地域活性化が課題となっている中、地域社会とのつながりを活かしてニーズを把握し、災害対応や老朽化への支援、地域生活を支える利用環境の提供、地域の魅力を活かした収益事業の展開など様々な取り組みを継続的にしている。

【具体的な取り組みごとの目標】

- (1) 災害時の早期復旧支援 [対応ノウハウの他道路管理者との共有等]
- (2) 地域生活を支える利用環境の提供 [冬期の交通確保、スマートIC]
- (3) 他の道路管理者の支援 [コンサルティングなどによる老朽化対策]
- (4) 地域との連携による休憩施設の魅力の向上 [地域の魅力の発信拠点化]
- (5) 新事業の拡大 [他企業との連携等による戦略的な収益拡大]
- (6) 地域における顔づくり

4. 国際社会から認められている企業 ~ Recognized

新興国でのインフラ整備ニーズの高まりを踏まえ、国内課題が山積している中でもグローバルな視点を持ち、道路PPP事業への参入実現などにより次のステージへの準備ができている。

【具体的な取り組みごとの目標】

- (1) 世界の高速道路づくりへの貢献 [社員の海外派遣及び海外技術者等受入れ]

5. 社員がやりがいを実感している企業 ~ Rewarding

新設事業縮小などの事業環境下において地域社会に貢献し、フロンティアへ挑戦し続けるため、全社員が安全・安心の最優先を大前提にしつつ、様々な場で既存の枠組みに捉われない新たな「つなぐ」価値を創造することにやりがいを持って取り組んでいる。

【具体的な取り組みごとの目標】

- (1) 人材育成
- (2) 社員のモチベーションアップ
- (3) 労働安全衛生
- (4) 組織・業務の効率化
- (5) 技術力の向上
- (6) 新たな事業への展開を支援する仕組みの構築